

2. 育児空間に適用したルーム チューニングアイテムと新製品紹介

大山 宏 (Hiroshi Ohyama)
日本音響エンジニアリング(株)

1. 日南市子育て支援センター『ことごと』 あかちゃん広場「森のステージ」

1.1 概要

日南市中心市街地活性化事業の一環として建設された日南市子育て支援センター『ことごと』あかちゃん広場(写真1)に、Acoustic Grove System (AGS)を用いた「森のステージ」(写真2)が誕生した。

『ことごと』は地元特産の舐肥杉に囲まれた空間で、この空間から次の世代がすくすくと育っていくことを願って設計された。AGSが採用された「森のステージ」は、その中心にあるあかちゃん広場の一角にあり、私たちはその設計に協力した。この広場は子育てに関するセミナー等のイベントが開催されるほか、普段は自由に親子で遊べるようなスペースとなっている。訪れた方からは、「話声が聞き取りやすい」、「赤ちゃんの声がキンキンせず心地よい」、「子どもの声が響き合い環境音化している」、「森のイメージが湧いて落ち着く」等の感想が寄せられている。

1.2 設計者の声

『ことごと』の中心あかちゃん広場を日南の舐肥杉をつかった「おびすぎの森」でやさしく囲みました(写真3)。「柱状拡散体」の技術を使い(写真2)、あかちゃんが思い切り泣いても叫んでもいやな響き方をしません。広場の製作は日南の製材所、家具屋さんが担当し、オール日南の子ども達のための自慢の空間となっています。

2. 新製品紹介(Meleon) —音響調整家具—

2.1 概要

「Meleon(メレオン)」は空間の音響特性をだれでも簡単に調整することができる音響調整家具です。当社では音響性能と意匠性を兼ね備えた、音響調整家具Meleonを開発しました。

Meleonは従来の音響調整機構に比べ、薄く・省スペースで特別な工事を伴わず簡単に設置が行えます。

さらにインテリアに溶け込む意匠性・デザイン性を



写真1 あかちゃん広場



写真2 森のステージ



写真3 おびすぎの森の囲い

持ちながら、空間の居住性や快適性を室内音響の面から向上させることができる機能性家具として設計しています。



好きな音色を飾る。

昨今のリモート環境でも話しやすく、聞き取りやすい環境を実現します。

2.2 Meleonの構成

・ Meleon-Shelf



Meleonアイテムを設置できるマスを持った棚状の家具です。複数のMeleon-Shelfを連結して、音響調整の範囲を広げたり、音響効果を増強したりすることができ、空間のサイズや目指す音場に合わせて自由な組み合わせで設置することが可能です。

・ Meleon-Filler



吸音特性の異なるレザータイプとファブリックタイプの2つの異なるタイプを用意しました。特性の異なるフィルターの使い分けにより、目的や空間に合わせた組み合わせが可能です。また、バランス良く幅広い音域を吸音できるように、一般的な吸音材の約6倍の125 mm厚とし、素材や構造にもこだわって設計を行っています。

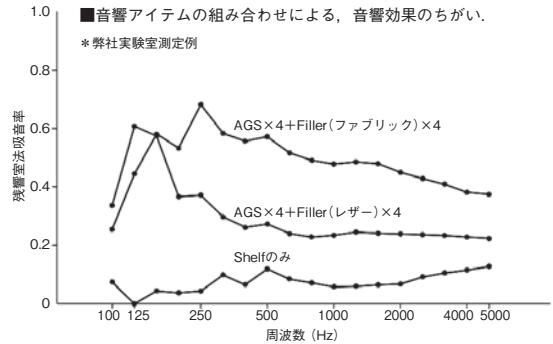
・ Meleon-AGS



木質の円柱を組み合わせた当社の音響製品「Acoustic Grove System (AGS)」の音響効果を凝縮し「Meleon」専用にデザインしました。コンパクトな形状ながら、AGSの特徴である、『低域の抜けの良さ』と『中高域の緻密な響き』が叶えられます。フィルターとの組み合わ

せで、吸音と拡散の相互の利点を活かした音響的にバランスの良い空間を構築し、低音域から高音域までの周波数応答特性をなだらかに整える効果があります。

2.3 Meleonの音響効果



ファブリックタイプの吸音フィルターの組み合わせでは、幅広い周波数帯域でバランスよく吸音していることがわかります。特に話声などの中心帯域である中高域の音をしっかりと吸音し、くせの少ない自然な吸音特性を有しているため、響きすぎて大きな音が発生すると耳が痛くなるような空間や、複数の人が同時に話をする聞き取りにくいと感じるような場所で効果を発揮します。

一方、レザータイプの吸音フィルターでの組み合わせでは、ファブリックタイプの組み合わせと比べ、特に低い周波数帯域の吸音に優れ、かつ、高い周波数帯域の音を過度に吸音しすぎないように設計されているため、比較的小空間で課題となる、いわゆる低域の“プーミー”対策に効果があります。



■お問い合わせ先：

日本音響エンジニアリング(株) 企画室 勝又
TEL：03-3634-5307